



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月2日

上場会社名 東海染工株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 3577 URL <http://www.tokai-senko.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鷲 裕一
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 岡野 浩二 TEL 052-856-8141
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,351	△20.6	△224	—	△156	—	△256	—
2020年3月期第2四半期	6,742	△2.5	257	△4.5	249	△20.1	71	△22.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △308百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 143百万円 (212.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△79.03	—
2020年3月期第2四半期	21.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	13,003	6,663	44.8
2020年3月期	13,927	7,195	44.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 5,830百万円 2020年3月期 6,159百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,700	△23.6	△230	—	△150	—	△280	—	△86.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	3,614,252株	2020年3月期	3,614,252株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	366,479株	2020年3月期	366,282株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	3,247,896株	2020年3月期2Q	3,289,754株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、経済・社会活動は大きく停滞しました。6月以降、経済活動再開の動きはあるものの、未だ新型コロナウイルス感染症収束の兆しは見え、厳しい状況が続いております。

染色加工業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛や各自治体からの営業自粛要請等により個人消費は大幅に落ち込み、自粛要請等の解除、経済活動再開後におきましても、繊維製品販売は依然として低迷しており、厳しい事業運営を強いられる状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは国内の染色加工事業において新型コロナウイルスの感染拡大以前から市場規模に応じた生産体制への移行を実施しておりました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大、長期化懸念から、更なる規模縮小や徹底的なコストの削減・見直しに注力しました。

また、「新しい生活様式」に対応するため、抗菌・抗ウイルスなどの特殊加工技術を活かした素材提案や新商品の開発に注力しました。

海外におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、マスク用途素材の受注は伸ばしたものの、タイ国及びインドネシア共和国共に国内向け販売が大幅に落ち込みました。

縫製品販売事業では、国内のマスク需要に対応するため不織布マスク・ガーゼマスクの販売やユニフォームマスク、抗菌・抗ウイルス素材や肌にやさしいガーゼ素材を使用した新商品提案に注力しました。

保育サービス事業では、コロナ禍においても医療従事者支援の観点から、企業内(病院内)保育所の継続運営を続けて参りました。経済活動再開後においても、利用者の減少傾向は続いておりますが、感染症対策に万全を期すとともに、新規拠点の開設・運営や事業エリアの拡大に注力しました。

洗濯事業では、インバウンド需要の低迷によるホテルリネンの大幅な減少など、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける結果となりました。

これらの結果、売上高は5,351百万円(前年同期比20.6%減、1,391百万円減)となり、営業損失は224百万円(前年同期は営業利益257百万円)、経常損失は156百万円(前年同期は経常利益249百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は256百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益71百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

a. 染色加工事業

染色加工事業は、売上高は3,665百万円(前年同期比29.0%減、1,494百万円減)となり、営業損失は219百万円(前年同期は営業利益191百万円)となりました。

染色加工事業における部門別(加工料部門、テキスタイル販売部門)の業績は次のとおりであります。

(加工料部門)

国内では、政府のマスク不足解消施策やマスク用途によるガーゼ加工などの需要はありましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための店舗休業や営業自粛による衣料用途・ユニフォーム向け定番品の大幅な落ち込みは解除後においても改善の兆しが見えず大幅な減収となりました。

海外では、新型コロナウイルス感染拡大に伴う企業への活動制限による大幅な受注減少のため、インドネシア会社は、大幅減収となりました。

タイ国子会社では、輸出向け受注は増加したものの、国内の定番品受注が激減したため減収となりました。

これらの結果、加工料部門の売上高は2,723百万円(前年同期比33.9%減、1,396百万円減)となりました。

(テキスタイル販売部門)

国内では、カジュアル向け販売は新型コロナウイルス感染症の影響により低迷しましたが、マスク用途のガーゼ生地販売が好調に推移したため増収となりました。海外では、マスク用途生地の販売は好調に推移しましたが、その他の通常販売生地の大幅な落ち込みにより減収となりました。

これらにより、テキスタイル販売部門の売上高は942百万円(前年同期比9.4%減、97百万円減)となりました。

b. 縫製品販売事業

縫製品販売事業は、量販店向けの販売は低調に推移しましたが、ガーゼ・不織布マスクの販売、ユニフォームマスク、抗菌・抗ウイルス素材マスクの提案・販売を実施した結果、売上高は347百万円(前年同期比83.9%増、158百万円増)、営業利益は25百万円(前年同期は営業損失8百万円)となりました。

c. 保育サービス事業

保育サービス事業は、新規拠点5ヶ所を開設するも、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント関係の中止や利用者の利用控えから売上は減少、新規開設、事業エリア拡大のための先行投資もあり、売上高は1,234百万円(前年同期比3.6%減、46百万円減)、営業損失は43百万円(前年同期は営業利益51百万円)となりました。

d. 倉庫事業

倉庫事業は、ニット製品等の荷扱量減少はあったものの、費用見直し等により、売上高は103百万円（前年同期比14.2%減、17百万円減）、営業利益は2百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

e. 機械販売事業

機械販売事業は、染色加工関連設備の海外向け売上が減少したことにより、売上高は119百万円（前年同期比22.9%減、35百万円減）、営業利益は32百万円（前年同期比7.1%減、2百万円減）となりました。

f. 洗濯事業

洗濯事業は、新型コロナウイルス感染症の影響からインバウンド需要が壊滅的な影響を受け、ホテルリネンが大幅に減少するなど厳しい状況が続いており、売上高は27百万円（前年同期比57.5%減、37百万円減）、営業損失は33百万円（前年同期は営業損失9百万円）となりました。

g. その他事業

当セグメントには、システム事業、不動産賃貸事業が含まれており、売上高は50百万円（前年同期比10.4%減、5百万円減）となり、営業利益は40百万円（前年同期比12.1%減、5百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、13,003百万円（前連結会計年度末比6.6%減、923百万円減）となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少1,096百万円、原材料及び貯蔵品の減少93百万円、その他流動資産の増加91百万円、投資有価証券の増加56百万円等によるものです。

負債は、6,340百万円（前連結会計年度末比5.8%減、391百万円減）となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少397百万円、電子記録債務の減少182百万円、その他流動負債の減少359百万円、長期借入金の増加570百万円等によるものです。

純資産は、6,663百万円（前連結会計年度末比7.4%減、532百万円減）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少256百万円、配当金の支払による減少64百万円、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加39百万円、為替換算調整勘定の減少52百万円、非支配株主持分の減少203百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績結果に加え、第3四半期以降の当社グループを取巻く経営環境の見通しを勘案し、結果、2021年3月期通期連結業績予想につきましては、2020年10月23日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,473,558	2,747,240
受取手形及び売掛金	2,952,434	1,856,410
商品及び製品	228,512	221,999
仕掛品	248,377	288,140
原材料及び貯蔵品	371,033	277,837
その他	227,568	319,250
貸倒引当金	△17,688	△21,833
流動資産合計	6,483,795	5,689,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,338,481	1,323,537
機械装置及び運搬具(純額)	1,767,169	1,693,645
土地	1,762,202	1,757,445
建設仮勘定	142,270	66,275
その他(純額)	427,344	456,479
有形固定資産合計	5,437,468	5,297,383
無形固定資産		
その他	84,168	77,982
無形固定資産合計	84,168	77,982
投資その他の資産		
投資有価証券	1,554,738	1,611,735
繰延税金資産	25,066	24,415
その他	414,455	400,736
貸倒引当金	△72,376	△97,705
投資その他の資産合計	1,921,883	1,939,181
固定資産合計	7,443,520	7,314,547
資産合計	13,927,316	13,003,591

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	954,577	557,169
電子記録債務	664,492	481,828
短期借入金	1,015,000	1,025,000
未払法人税等	62,061	47,218
賞与引当金	118,070	114,439
その他	1,162,032	802,949
流動負債合計	3,976,233	3,028,604
固定負債		
長期借入金	1,185,000	1,755,000
役員退職慰労引当金	24,970	21,053
退職給付に係る負債	960,397	855,129
資産除去債務	43,924	51,579
その他	540,981	628,850
固定負債合計	2,755,274	3,311,613
負債合計	6,731,508	6,340,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,120	1,400,120
利益剰余金	1,794,729	1,473,085
自己株式	△597,909	△598,130
株主資本合計	6,896,940	6,575,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141,123	180,729
為替換算調整勘定	△830,221	△883,114
退職給付に係る調整累計額	△48,516	△42,592
その他の包括利益累計額合計	△737,614	△744,976
非支配株主持分	1,036,482	833,275
純資産合計	7,195,808	6,663,373
負債純資産合計	13,927,316	13,003,591

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	6,742,302	5,351,132
売上原価	5,650,481	4,778,547
売上総利益	1,091,821	572,585
販売費及び一般管理費	834,173	796,939
営業利益又は営業損失(△)	257,647	△224,353
営業外収益		
受取利息	7,117	3,600
受取配当金	30,748	31,637
為替差益	—	37,376
補助金収入	—	21,422
雑収入	17,296	5,289
営業外収益合計	55,162	99,327
営業外費用		
支払利息	8,969	9,191
固定資産廃棄損	10,189	9,591
為替差損	23,097	—
雑支出	21,314	12,692
営業外費用合計	63,571	31,475
経常利益又は経常損失(△)	249,238	△156,501
特別利益		
国庫補助金	—	46,937
特別利益合計	—	46,937
特別損失		
固定資産圧縮損	—	46,937
社葬費用	24,434	—
特別損失合計	24,434	46,937
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	224,803	△156,501
法人税、住民税及び事業税	44,440	35,896
法人税等調整額	17,666	69,743
法人税等合計	62,107	105,639
四半期純利益又は四半期純損失(△)	162,696	△262,141
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	90,931	△5,456
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	71,764	△256,684

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	162,696	△262,141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47,829	39,605
為替換算調整勘定	26,593	△85,164
退職給付に係る調整額	2,014	△1,168
その他の包括利益合計	△19,221	△46,727
四半期包括利益	143,474	△308,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,131	△245,657
非支配株主に係る四半期包括利益	77,343	△63,211

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	224,803	△156,501
減価償却費	238,934	213,334
社葬費用	24,434	—
国庫補助金	—	△46,937
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△51,955	△75,861
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,315	29,483
賞与引当金の増減額(△は減少)	△46,705	△3,630
受取利息及び受取配当金	△37,865	△35,238
補助金収入	—	△21,422
支払利息	8,969	9,191
為替差損益(△は益)	12,451	△8,850
有形固定資産廃棄損	10,189	9,591
固定資産圧縮損	—	46,937
売上債権の増減額(△は増加)	668,788	1,074,491
たな卸資産の増減額(△は増加)	△53,775	46,541
仕入債務の増減額(△は減少)	△285,984	△562,277
未払費用の増減額(△は減少)	△80,937	△78,920
その他	△124,608	△251,705
小計	504,426	188,223
利息及び配当金の受取額	37,865	35,238
補助金の受取額	—	21,422
利息の支払額	△9,077	△9,059
法人税等の支払額	△77,926	△24,439
社葬費用の支払額	△24,430	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	430,857	211,386
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△956	△136
国庫補助金の受入による収入	—	46,937
有形固定資産の取得による支出	△367,977	△307,322
無形固定資産の取得による支出	△3,667	△1,065
その他の支出	△9,972	△5,403
その他の収入	12,189	885
投資活動によるキャッシュ・フロー	△370,384	△266,105
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△280,000	△150,000
長期借入れによる収入	750,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△280,000	△370,000
セール・アンド・リースバックによる収入	158,448	79,175
自己株式の取得による支出	△100,258	△221
リース債務の返済による支出	△87,736	△83,882
配当金の支払額	△150,093	△64,959
非支配株主への配当金の支払額	△79,359	△158,718
その他	811	653
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68,188	352,047
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,236	△18,125
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△22,952	279,202
現金及び現金同等物の期首残高	1,943,659	2,326,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,920,707	2,606,075

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

（退職給付引当金の数理計算上の差異の処理年数の変更）

従来、当社の数理計算上の差異の費用処理年数は9年としておりましたが、従業員の平均残存勤務期間が短縮したため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を8年に変更しております。

この変更に伴い、当第2四半期連結累計期間の営業損失は7,384千円増加し、税金等調整前四半期純損失は7,384千円増加しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	機械 販売	洗濯	計				
売上高											
外部顧客への売上高	5,131,272	182,280	1,281,083	17,478	27,044	65,204	6,704,364	37,937	6,742,302	-	6,742,302
セグメント間の内部売上高又は振替高	28,465	6,527	-	103,225	127,500	-	265,718	18,647	284,365	△284,365	-
計	5,159,737	188,808	1,281,083	120,703	154,544	65,204	6,970,082	56,585	7,026,668	△284,365	6,742,302
セグメント利益又は損失(△)	191,445	△8,947	51,784	△3,447	34,815	△9,191	256,459	46,459	302,918	△45,271	257,647

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム事業及び付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△45,271千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	機械 販売	洗濯	計				
売上高											
外部顧客への売上高	3,660,180	340,986	1,234,775	9,290	42,427	27,740	5,315,400	35,732	5,351,132	-	5,351,132
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,965	6,284	-	94,217	76,700	-	182,167	14,971	197,139	△197,139	-
計	3,665,146	347,270	1,234,775	103,508	119,127	27,740	5,497,568	50,703	5,548,272	△197,139	5,351,132
セグメント利益又は損失(△)	△219,466	25,284	△43,340	2,622	32,352	△33,800	△236,347	40,860	△195,486	△28,867	△224,353

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム事業及び付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△28,867千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「洗濯事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。